

# 製品の安定供給

CASIO now!

## 製品の安定供給の考え方

カシオは、確かな品質の製品を生産し安定的に供給することが必達事項と考えています。このために、生産現場でのつくり込み品質の向上を図るとともに、製品安定供給の方針として、生産リードタイムの短縮と計画実行精度の向上、部材供給企業との協力関係の構築、生産活動におけるリスク対応、生産分業体制の構築を掲げ、さまざまな活動により生産体制の強化に取り組んでいます。

製品の安定供給に  
グローバルに  
取り組んでいます。



開発本部 生産資材統轄部  
西川 徹

お客様に喜ばれる製品をより早く、安定的にお届けし続けるということが私たちの責務です。昨今、国際情勢はますます早く変化しており、各種のリスクの発生が想定されています。一方、お客様ニーズは多様化し、より柔軟なお客様対応が求められています。このような事業環境に対応し、最適な安定供給を実現するため、さまざまな活動を続けています。

## 製品安定供給の方針

- ① IT を駆使したサプライチェーン（部材調達～生産～物流～販売～サービス）の合理化による生産リードタイムの短縮と計画実行精度の向上
- ② 安定した材料調達の為に必要な部材供給各協力企業との良好な協力関係構築
- ③ 生産活動における様々なリスク要因への備えとしての2拠点分散生産体制とグループ工場の複数品目対応化によるリスク対応への柔軟性の維持
- ④ 商品別に地域特性（市場近接性、技術力、部材調達環境、人件費、物流費、為替リスク）に応じた最適な生産分業の体制の構築

## 製品の生産体制強化の実績と計画

2007年度は、韓国カシオを閉鎖し2006年度より開始したカシオ電子科技中山での電子腕時計の生産を拡大しました。これにより東アジア地域では5工場が4工場に体制集約されました。また同時に工場運営の標準化もできつつあります。

今後はさらに工場管理機能の効率化と一工場あたりの事業規模の適正化を推し進め、生産性の向上と工場運営の標準化によるリスク対処のスピードアップを目指していきます。また、中国生産のコスト上昇に対し、ASEANを含めた東アジア全体でのコスト上昇を吸収する体制の強化に取り組めます。

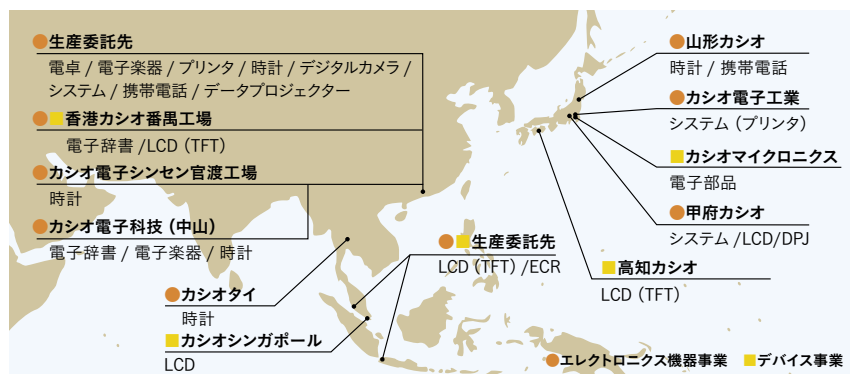
一方、モノづくりの現場における変革については、サプライチェーンコントロールの強化、生産技術と商品設計の機能連携の強化により、低労務費に依存した大量生産型の現場から、市場の動きに機敏に追随しながら、品質や効率を落とす事なく生産品種の切り替えを素早く行える、コンパクトでフレキシブルな生産にも取り組んでいきます。

これらの活動により、国や地域を問わずさまざまなリスクに対処可能な生産現場を実現し、お客様に安心と満足のいく製品を安定してお届けしていきます。

## 生産品質の強化への取り組み

商品を高品質・適正価格でお客様へお届けするため、生産現場でのつくり込み品質の向上を重視しています。不良品を「つくれない」「後工程へ流せない」生産現場を基本思想とし、日々の生産改善活動を行っています。その活動結果は、「生産改善事例集」として世界中の各製造現場に紹介され、改善ノウハウの共有化による作業品質の向上に役立っています。

### 品目別製品供給体制



華南地域の生産ライン